

てんじんじんじや
天神神社



平将門が天慶元年（938年）に京都の天満宮（北野神社）を勧請して造営したと伝えられている神社。

緑豊かな境内には、高木に囲まれて道六神、妙正大明神などが祀られています。

神社近隣の商店には、神社の由来を記録した掛軸が保管されており、菅原道真公の像とともに「抑天満宮者 人王六十一代 朱雀天皇御宇 天慶元年 平親王将門公 皇都天満宮 下総大野二移ス」と勧請の経緯が記されています。

らいりんじ
禮林寺



曾谷の領主曾谷教信の娘、芝崎姫が父教信の亡くなった場所に建立したと伝えられる寺。

曾谷教信の法号「法蓮阿闍梨日礼」と芝崎姫の法号「妙林日貞法尼」より、それぞれ一字を取って、禮（礼）林寺としたことに始まると云われています。

桜や松に囲まれた境内には、稻荷大明神と釈迦を祀った感応殿、子授け祈願の牛頭天王（ござてんのう）を祀った神社等があります。

こまがただいじんじや
駒形大神社



経津主神（ふつぬしのかみ）と共に平将門を祀った神社。御神体は白馬にまたがった将門の像と伝えられています。

この神社で1月20日に開かれる年中行事「にらめっこおびしゃ」は、行司をはさんで氏子2人がにらみあう五穀豊穡の行事で、市指定無形民族文化財に指定されています。

この行事の由来としては、将門がこの神社を訪れて始まったとされる説、将門亡き後に朝廷と地域住民の和睦を形式化したとされる説等が残されています。

ほうれんじ
法蓮寺



曾谷の領主、曾谷教信が出家した後、建治3年（1,277年）に建立したと伝えられる寺。

曾谷教信は、鎌倉時代後期の下総国の武士であり、日蓮の献身的な支援者だったと伝えられています。領地であった曾谷からこの地に移り住んだ後、正応4年（1294年）に68歳で没しています。

境内には、手入れの行き届いた桜や松が配置され、山門を入って右手には鐘楼、その奥の祖师堂の欄干には彫った木彫の竜があります。

いちかわしれいえん
市川市霊園



桜や松、数千本のツツジなど四季折々の花々に囲まれた墓地公園。約16,050区画の普通墓地・芝生墓地が造成され、市民の憩いの場として親しまれています。

全長約1kmにわたって続くイチョウ並木は、いちかわ景観100選に選ばれています。紅葉の見ごろは12月初旬頃。

開園時間は、午前8時～午後6時。（夏季、お盆お彼岸期間、冬季は開園時間が異なります。）入場無料。

お問合せ先：047（337）5696。

おおまちこうえん どうしよくぶつえん
大町公園（動植物園）



谷津に広がる湿地や湧水等の豊かな自然を生かした総合公園。水と緑が調和した園内では、季節ごとに小鳥や昆虫を観察することができます。また、動物園、観賞植物園、自然観察園（バラ園）、自然博物館が設置されています。

動物園では、レッサーパンダやオランウータンを中心に約70種の動物が飼育されています。小動物と直接触れ合うことができる「なかよし広場」などがあります。

開園時間：午前9時30分～午後4時30分。月曜休園（月曜祝日の場合は、翌日休園）。お問合せ先：047（338）1960。

観賞植物園では、温室にてハイビスカスやシンビジウムなど約340種の熱帯植物を観賞することができます。開園時間及び休園日は、動物園と同じ。お問合せ先：047（339）4411。

北東部
水と緑の回廊
マップ

平将門伝説と
レッサーパンダに
会いに行こう



水と緑の回廊とは

市の北東部地域には、大町公園や社寺林等の緑が多く残されており、また、各地に将門伝説が伝承されています。

これらの資源を守り、豊かなものにしていくためにネットワーク化（回廊）を図り、個々の資源から全体の資源として価値を高めるとともに、「健康都市いちかわ」にふさわしい回廊として整備したものです。



大町公園バラ園



WHO憲章の精神を尊重した
「健康都市いちかわ」宣言

「すべての人々にとって、できる限り高い健康水準を享受することは基本的な権利である」
一私たちは、このWHO（世界保健機関）憲章の精神を尊重し、誰もが個々の能力を生かしながら健やかに、生き生きと暮らせる「健康都市いちかわ」を目指すことを、ここに宣言します。

【お問合せ】市川市 水と緑の部
電話 047-334-1111

まんようしよくぶつえん
万葉植物園



万葉集にゆかりのある植物200種を集めた池泉回遊式の和風庭園。

万葉集に詠まれている植物を和歌と共に展示するとともに、せせらぎ、池、東屋、藤棚、石灯籠、つくばい等を配置しています。

開園時間は、午前9時30分～午後4時30分。（11～3月は午後4時に閉園。）月曜休園（月曜祝日の場合は翌日休園）。入場無料。お問合せ先：047（337）9866。

じょうこうじ
浄光寺



平安時代末、平将門がこの地に城を築いたときに、城内に毘沙門天（現在、市川七福神に指定）を安置するために建立されたと伝えられる寺。

境内の仁王門には運慶作として伝えられている市指定の重要文化財の「乳なし仁王像」があり、乳の少ない人や乳の病気の方々の信仰を集めています。

大きなヒマヤスギをはじめ、春には桜、夏にはアジサイ、ツツジ、秋にはイチョウ、冬には梅の花など四季折々の植物に囲まれた緑多いお寺です。

寺領内には幼稚園が併設されているので門が閉まっている時間帯がありますが、参拝は行えます。

おおのじょうあと
大野城跡



平将門が天慶年間（938～947年）の頃、下総西部を鎮圧するために築いたと伝えられている出城の跡地。

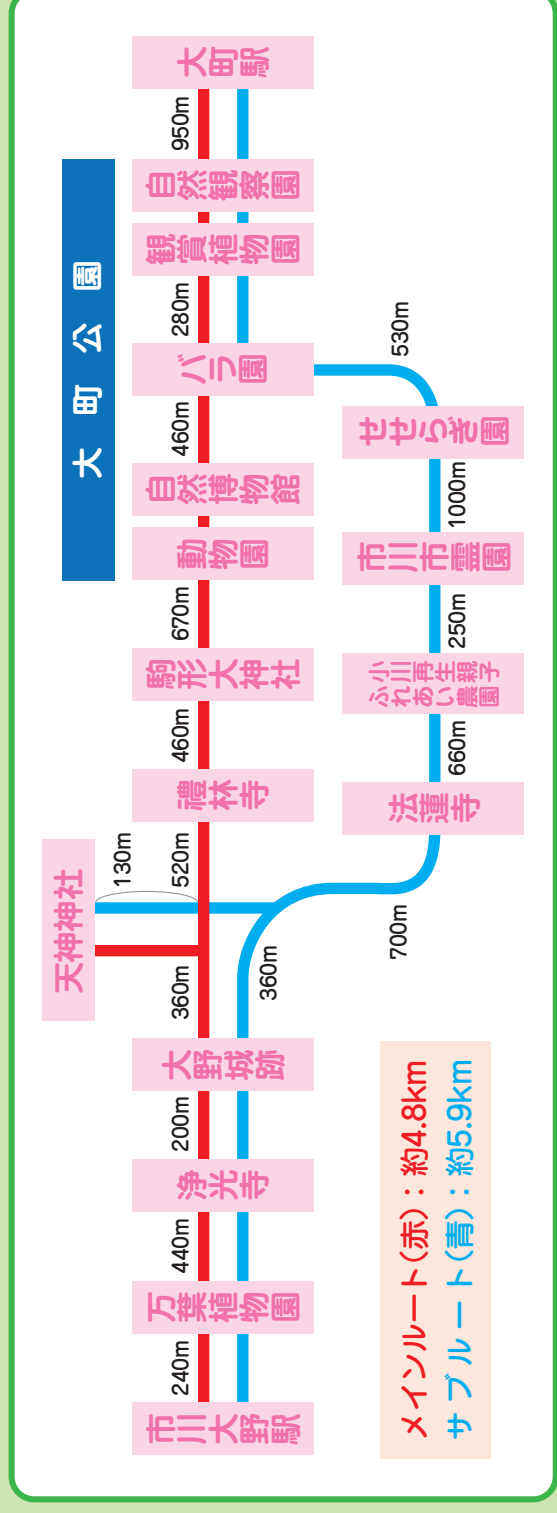
市川市立第五中学校を中心とした高台一体は、古くは「城山」と呼ばれていました。周辺では、殿台、殿内、御門等、城郭と関連する字名が残されています。

現在、城跡の北側には斜面林が広がり、中学校の敷地内には、将門を祀ったとされる石の祠「将門様」があります。（校内につき見学不可。校門前に案内表示板あり。）

大野城跡は、戦国時代の城郭という説もあり、将門が構築したものか定かではありませんが、周辺には将門にまつわる多くの伝承が残されています。

市川市 北東部

水と緑の回廊のアップ



【将門伝説】

大野地域に残る伝承では、関東を征服しようとして、天慶の乱を起こした平将門が、下総国の西南部(市川市周辺)を鎮庄するために、大野川に出城を築いたとされ、大野一体は、乱の後、将門の配下によって開墾された土地であると言われています。

大野の人は、将門征伐のため不動明王を安置し、降伏の祈願が行われた成田山には今もって参詣しない等、大野地域には様々な風習が残されています。

子供たちに自然のふれあいや作物を生育する喜びを体験してもらうために、地域の協力を得て稲作体験事業を行っています。

小川再生親子ふれあい農園

このあたりは
迷者の城が
あったんじゃ

[illegible]